



認定こども園とは？
幼稚園型とは？
預り保育じゃダメなの？
認定こども園になるには？
幼保連携になると？
働く側にとっては？



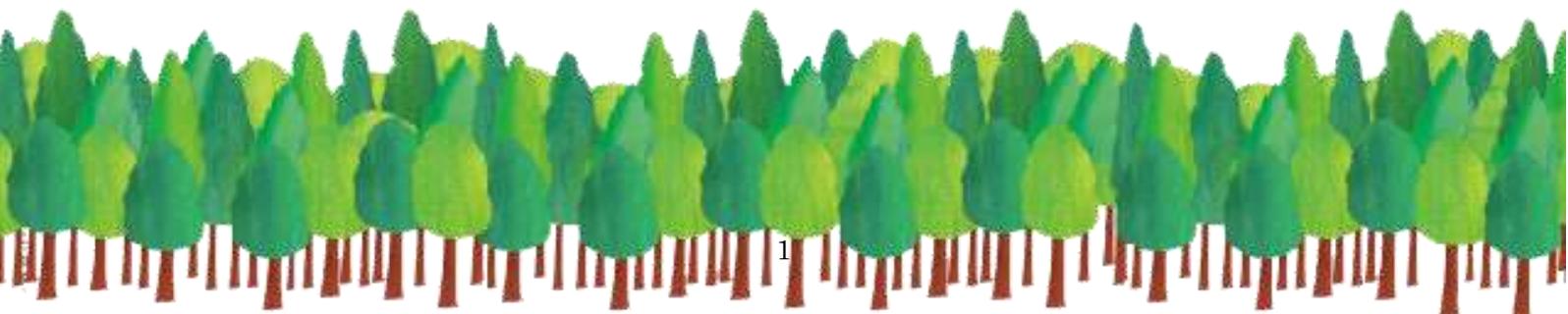
「認定こども園」

かんたんガイド



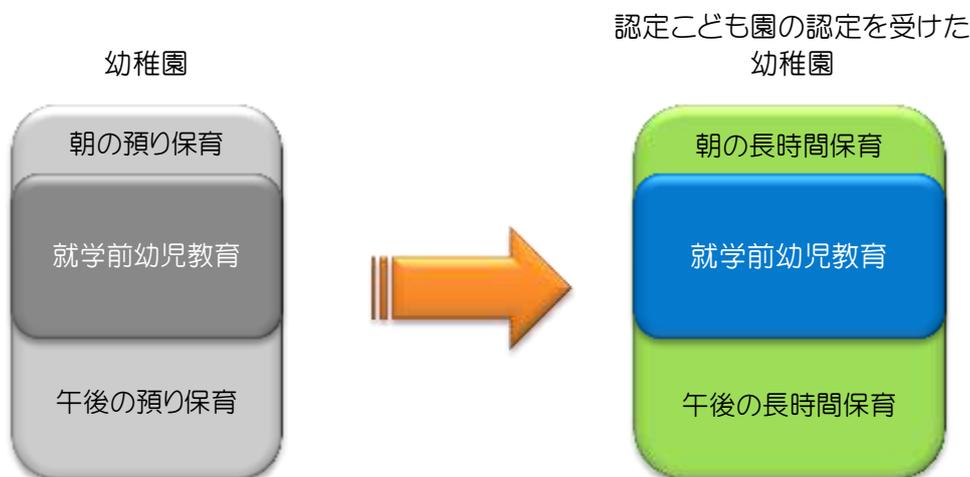
前向きに取り組むことにより、子どもや保護者のみならず様々な効果。

認知度が低いので、市民の皆様が、「幼稚園」・「保育園」・「認定こども園」を、ニーズに応じて選べるように、「幼保連携」を実践している「むさしの認定こども園」が、わかりやすくまとめてみました。



「認定こども園」とは!?

「認定こども園」の認定を受けた幼稚園とは!?



**「認定こども園」とは
“預り保育と子育て支援に充実した幼稚園”が
認定を受けられる「幼稚園」です。**

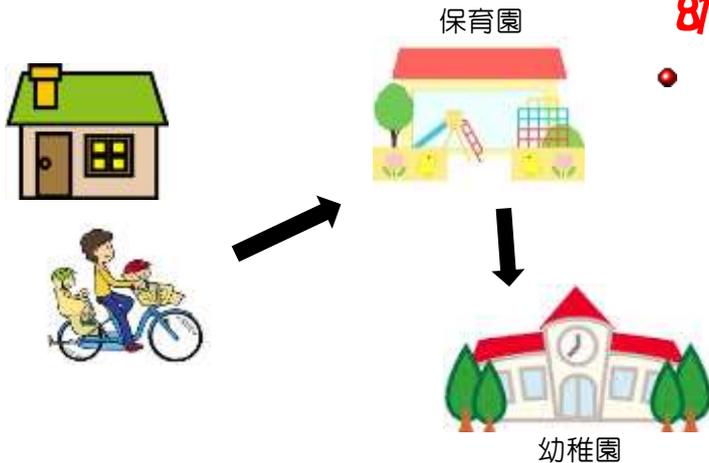
認定こども園になるには ?

- 通常の幼稚園の預り保育より厳しい人員配置や実施日、また子育て支援など備えていなければ、単に、預り保育を行っていても「認定こども園」の認定は受けられません。
- なお、幼稚園が長時間保育に適した人員配置や環境整備を行い、認定こども園の認可を受けると、区市町村に対する預り保育部分の運営費に対する国の支援が厚くなり、保護者負担のみならず地方行政の負担も軽減しつつ、預り保育を展開する事が出来ます。

◎ <<例えば>> おさしのでは、第一段階として「幼稚園単独型認定こども園」に認定されましたが、その時には、園の負担無く正職員を配置したい、保護者負担も最大で月 6,000 円の減額を行う事が出来たい、その上、東村山市の予算の軽減に対しても貢献する事が出来ました。

(※保護者負担の軽減については、園の運営状況により様々です。)

- 「認定こども園」とは、幼稚園の理念や形は全く変わらずに、「認定」が与えられる制度。預り保育を行っている各幼稚園は、その姿を変えることなく、しかも、様々な効果を発揮する事の出来る制度です。
- 「東京都私立認定こども園協会」は、幼稚園の預り保育の、より安全な充実と保護者負担の軽減を狙いと、行政と一体となって保護者・子どもの就学前幼児教育の普及に向け、認定こども園化を進めています。



幼保連携型になると !?

- これまで、就労や介護、また、その他の家庭事情などで、保育を必要とする乳児と幼児を持つご家庭の場合、「3歳以上は幼児教育を受けさせたいので A 幼稚園へ。2歳以下の子どもは B 保育園へ通わせる」など、受け入れ態勢による弟妹の分断などの課題がありました。
- また、せっかく慣れた保育園から、新たな幼稚園への転園など、負担となっていた子どもや保護者の心配やリスクも改善されます。

幼保連携型認定こども園の場合、同じ施設への登園も可能となります。



- また、乳児から幼児まで、保育と教育を一貫して行う事ができるので、個々の子どもの成長に対し、よりの確であり連携した形での教育を行う事が出来ます。

- ◎ <<例えば>> 元々、文部科学省管轄の幼稚園と、厚生労働省管轄の保育園が連携する形をとっていますので、例えば、保育部の子ども達も、幼稚園の広い園庭や駐車場・体育館など利用できたい、幼稚園の先生に学習を習う事が出来ます。



- ◎ 幼稚園の子ども達も、看護師さんに怪我や病気のお世話をしてもらいたい、栄養士や調理師さんに、食事の提供や食育指導もしてもらえます。

保育士と幼稚園教諭が同じ学園のスタッフ。乳児期の成長過程と幼児期の教育の連携。

そして、看護師や調理師との連携も実現。

- ◎ また、園で長時間過ごす幼稚園児に対する環境に対しても、保育園にある長時間対応へのノウハウや施設環境を備えることができています。

- ◎ 「認定こども園」は、幼稚園と保育園、両方の基準の厳しい方を満たしている施設であり、法律上教育機関である「学校」と定められています。



そのほか？ (おさしのご一例)

- 幼稚園の預り保育の子ども達も、保育施設で作る手作り給食やおやつを食べる事が出来たり、幼稚園の先生たちも、保育士と同じように毎月の細菌検査を行ったりと、長時間保育能力に長ける保育施設の厳しい衛生基準やノウハウの恩恵を多大に受けることができます。
- 長時間保育が必要な子どもも、保育園と同等の長時間保育と就学前幼稚園教育を受けられる施設です。
- 幼稚園の教育時間のみ選択される場合でも、保育部の機能の共有による多彩な教育環境が広がります。
- 幼稚園入園をお考えの保護者に対する就園前教室も、乳児保育のノウハウや環境も備わる施設ですので、より適切で手厚い就園前教室や子育て支援を行う事が出来ます。
- 保育園児も、サッカー、剣道、体操、美術、ピアノ、音楽、新体操、英語など、保育時間中に課外教室を利用する事ができます。(実施されている課外教室は各園様々です。)

そのほかも、新たに実現できることがたくさん!

働く側にとってはどうなの？

- 働くスタッフも、最初は季節的労働色の強い幼稚園の先生に。そして、結婚したり子どもが出来たら、いったん子育てに専念をしたり、幼稚園や保育園のパートで働いたり選択も。そして、子供が成長したら、シフト制色の強い保育園の保育士として、再度、正職員で資格や能力を生かし続けることができます。
- ◎ **ちなみに、おさしのごでは、卒園児が4人、元おさしの幼稚園の教諭でカムバックした職員が6人、元保護者が24人と、培った能力を生かされつつ、皆に愛されています!**
- ◎ **また、他の幼稚園経験者が13人、他の保育園経験者が9人、など、幅広く多彩なノウハウを持ったスタッフにも恵まれています!**

幼稚園と保育園が、ともに手を取り合い、各々の機能をさらに広げる事が可能な施設が、「幼保連携型認定こども園」。

全ての子どもと社会に対する「質と量の確保」の実現に向けた国策に準じ、各園が様々な取り組みや工夫を重ねている施設です。

幼稚園の就学前教育、保育園の保育指針がすべて盛り込まれ、かつ、相互の連携や融合により、今までの幼稚園や保育園各々が抱える課題や問題点を解決し、多彩で効果的な教育・保育の実現を目指す施設です。

